

北アルプスを代表する多様な自然

北アルプス(金木戸川・高瀬川源流部) 森林生態系保護地域

設定目的

日本海型気候から太平洋型気候への推移帯である本州中部に位置し、北アルプス(飛騨山脈)を代表する原生的で多様な天然林が存在しています。

その生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

地況・林況

笹ヶ岳、黒部五郎岳等に囲まれた金木戸川上流域と、槍ヶ岳、大天井岳等に囲まれた高瀬川源流部に位置する山岳地帯です。山地帯上部には日本海型のアカミノウツゲ・クローベ群集が、亜高山帯には太平洋型のシラビソ・オオシラビソ群集が発達しています。高山帯を最も特徴づけコケモモ・ハイマツ群集の常緑低木林もあり山頂周辺や山稜斜面の不安定な砂礫地には高山荒原植物群落が見られます。

所在地
長野県大町市、岐阜県高山市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。